

生徒の主体的な活動を支援する修明図書館

1 学校の概要

- (1) 所在地 福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字東中居 63
- (2) 学級数・生徒数 文理科・生産流通科・食品科学科・地域資源科・情報ビジネス科
14クラス・471名(令和6年5月1日現在)
- (3) 学校図書館の蔵書数 17,988冊(令和6年5月1日現在)

2 こんな図書館を目指して

ア) 読書センターとして、本との出会いが待っている居心地の良い場、イ) 学習センターとして、学習活動を支援したり集中して学習できるスペースづくり、ウ) 情報センターとして、生徒や教職員のニーズに対応したり、情報収集や探求活動ができる場、エ) 教材センターとして、生徒や教職員の授業研究や準備がやりやすい場を目指して、先生方や図書委員会の生徒達のご意見、ご協力をいただきながら今後も運営していきたい。

3 活動内容

(1) 図書委員会の生徒による企画展示

各クラス持ち回りの企画展示として、「図書委員おすすめコーナー」を設置している。興味・関心を持っていることや、学校行事や季節のイベント等にちなんだテーマを各自が設定し、自作のポスターと共に図書館内にある本を展示している。



(2) 「推し本POP」の募集

年間を通じて「推し本」の募集を行い、そのPOPとともに本を紹介している。今回は、その中でも是非とも読んでみたい本に投票することとした。どの本が、人気ナンバーワンになるのだろうか？ 興味深い。



推し本紹介・投票箱 生徒が作成したPOP

(3) 文化祭での「しおり作成ワークショップ」の開催

前回の公開文化祭では、図書委員会の企画として「しおり作りワークショップ」を開催した。図書委員がワークショップの受付、作成の仕方のレクチャーなどを行った。事前に準備したしおり用紙へシールやマスキングテープを自由に貼ってもらい、ラミネート加工した。



(4) 棚倉町地域おこし協力隊員との連携による「図書館ボランティア養成講座」の実施

令和2年度より、棚倉町の地域おこし協力隊員と連携し、図書委員の生徒を対象とした読み聞かせ講習会、棚倉町内の幼稚園児を対象とした読み聞かせ会を行ってきた。

今年度は、棚倉町地域おこし協力隊員・棚倉町立図書館と連携して、図書館ボランティア養成講座を実施した。例年、図書委員に限らず、地域のボランティア活動に興味がある生徒や将来司書を目指したい生徒からも参加を募り積極的に取り組んでいる。

このような取組を通して、地域との連携をさらに深めていきたいと考えている。



図書館の業務について学ぶ



読み聞かせの本の選書

3 広報活動

(1) ライブラリーニュースの発行

新着図書案内や毎月の企画展示の紹介を掲載し、毎月1回発行している。長期休業中の貸出案内や、新着図書の紹介など、生徒が図書館を身近に感じ、利用しやすくなるような紙面作りを意識して作成している。



(2) 図書館報の発行

図書委員会企画、教職員からの寄稿、図書館に関する各種統計などを掲載し、年1回発行している。「図書委員の<この本が読みたい!>」、「心に残った<この一行>」など、年替わりの企画ページも設け、読み物としても楽しむことができるように心がけて作成している。



4 今後の展望

今年度の活動を生徒の図書委員会や教員の図書部会などで振り返り、さらに継続、発展した方がよいことは進めていく。出来る限り、図書委員会の生徒達による自主的な活動を促しながら、学校全体として図書館の有効利用や書物への関心を高められるような取り組みを更に検討していきたい。校内における活動だけでなく、校外の機関との連携をさらに深め、地域で本校生徒が活動できる場を提供し、貢献できるような生徒を育てていきたい。